

理容器具など支援物資の送付

青年部、女性部、講師会などの組織力を生かし・・・

東日本大震災の被災地へ向けて、鋏やレーザーなど集める

千葉県理容組合では、岩手県組合と宮城県組合へ理容器具を送りました。

震災 10 日後ごろから全国青年部掲示板ネットワークを通じて、岩手県と宮城県の青年部長より、「被災地の理容師から、津波ですべてを流されてしまい、仕事も出来ないし、避難所でのボランティアも出来ない。理容器具をすぐに送って欲しい」との要請が寄せられました。

それに対して長野県や広島県はすぐに対応し、続いて千葉県でも、青年部と女性部の県総会 3 月 28 日に合わせ、各支部青年部女性部に連絡をとり、また講師会にもご協力を頂き、理容道具の提供をお願いしました。

3 日間と時間がなかったにも関わらず、100 丁を超える鋏とレーザー、また 250 枚ものクロスが集まり、総会終了後、集まったすべての物資の仕分け作業を 30 人余りの各支部青年部長と女性部長で行いました。

また、届いた鋏がすぐに使えるようにと、講師会より仲川講師、稲野辺講師が数時間のうちに鋏の調整をしてくれました。

そして提供頂いた物資はダンボール 9 箱にまでになり、受け取った時にすぐに分けられるように、すべて種類別に仕分けされ、その日のうちに被災地へ向け発送することが出来ました。

宮城、岩手両県では届いた器具を、各支部の青年部長が仕分けをし、各被災地へ運んだということです。

時間がない中でのお願いでしたが、短期間でこれだけのものが集まったのも、それぞれ個々では何か少しでも協力がしたいと思っている方々が大勢いて、組合という組織があるからこそ、このように迅速に対応できたのだと改めて感じました。

ご協力頂きました、各支部青年部、女性部、講師会また研究団体の方々に厚く御礼申し上げます。

なおその日に調整が間に合わなかった鋏は、5 月の県コンクール大会のブースで販売し、その売り上げを義援金とする予定です。



青年部長と女性部長たちによる仕分け作業

提供頂いた器具一覧です

刈込鋏	145	本
梳き鋏	21	本
ミニ鋏	8	本
カットクロス(大人用)	145	枚
“(子供用)	4	枚
シェービングクロス	79	枚
シャンプークロス	40	枚
水スプレー	7	本
シェービングカップ	20	個
ひげブラシ	33	本
櫛	203	本
ブラシ	89	本
レザー	108	本
T字かみそり	5	本
替刃	79	箱
ドライヤー	2	個
手バリカン	15	個
カット用替刃	5	箱
粉石けん	6	箱
シザーケース	12	ケース
エステスポンジ	10	個
マスク(50枚入り)	51	箱
マスク(40枚入り)	4	箱
マスク(30枚入り)	40	箱
スチームタオル	17	枚
ヘアピン	1	本
毛払いブラシ	9	個
シャンプーブラシ	13	個
毛ブラシ	2	本
ブルーム	2	個
ダッカールピン	43	本
ドライシャンプー剤	2	個
整髪料	10	本